

幼児期からの反復症状と色素沈着を経て検査値が低下した青年期アトピーの経過 (18 歳 女性)

症例 ID：001-18-OEm | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

3 歳頃からアトピー症状があり、風邪で受診した際などにステロイド外用薬を断続的に使用しました。
中学期に顔と首へ広がり、高校入学後の外用で手足の色素沈着が目立ちました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	風邪などの受診時に処方されたステロイド外用薬を断続的に使用しました。
製品名	製品名は不明です。
強度	不明です。
使用期間	幼児期から高校期まで断続的に使用しました。
中止時期	高校期です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
3 歳頃	発症	アトピー症状が出始めました。
小学校 6 年頃	一時軽減	症状が一時的に落ち着きました。
中学 1～2 年	再燃・範囲拡大	顔と首を含む部位へ症状が広がりました。
高校入学後	外用後の変化	外用した手足に強い色素沈着がみられ、ステロイドを中止しました。
その後	治療開始	松本医院で治療を開始しました。
記録時点	経過中	皮膚症状は軽減し、IgE が低下していました。

4. ピーク時期

ピークは、中学期から高校期に顔と首まで症状が広がり、外用後に手足の色素沈着が強くなった時期です。

5. 困りごと

・顔、首、手足の症状と色素沈着が外見上の負担となりました。

6. 経過のまとめ

治療開始後は皮膚症状が軽減し、検査では IgE の低下が確認されました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。